

第 87 回 縮小社会研究会



日時：2025 年 5 月 9 日 19:00 ~ 20:30

所：オンライン開催 (zoom)

zoom の URL: <https://us02web.zoom.us/j/85164609071>

ミーティング ID: 851 6460 9071

この夏に予定されている参議院の選挙において北陸新幹線の延伸問題が注目を集めています。敦賀―新大阪を小浜コースでつなぐ計画では、京都の真下を深度のトンネルを通すことになっています。地下水への影響や残土問題、さらに膨大な工事費問題など多くの問題点が指摘されています。これに対して、多くの市民・府民の反対の動きが広がっています。さらに、京都仏教会や酒造業者の反対の声も拡大しつつあります。リニア新幹線もすでに工事での水問題が生じています。人口縮小のこの日本で、なぜ深度にトンネルを作らなければならないのでしょうか。また、計画の進め方にも多くの課題があります。美山町の北陸新幹線問題対策委員長の長野宇規さんから、この問題の危険性についてお話ししていただきます。

新幹線延伸の非民主構造

講師：長野宇規さん

(南丹市美山町田歌区北陸新幹線問題対策委員長・神戸大学准教授)

講演要旨： 北陸新幹線の敦賀―大阪間延伸は 2016 年にルートが決定され、2019 年から環境アセスメントが始まりましたが、その過程は一貫して不透明なものでした。2024 年 8 月に詳細ルートや建設期間・総額が発表されると多くの市民をはじめ行政の長からも異議が出る事態となっています。ルート選定や工法を巡る問題は北陸新幹線のみならず北海道新幹線や九州西新幹線でも生じています。背景には安倍政権時代に進んだ質の悪い政治主導と居丈高に振る舞う与党議員が共通に見られます。

講師の経歴： 東京都出身。2002 年から南丹市美山町田歌区住民。神戸大学農学研究科准教授。専門は地域計画



参加登録： 非会員の方は伊藤 (itoida2@yahoo.com) まで氏名、メールアドレス、所属を連絡願います。

参加費： 会員は無料、非会員は 500 円

一般社団法人 縮小社会研究会 e-mail: jimukyoku@shukusho.org HP: <http://shukusho.org/>